Webで学ぶ
情報検索の演習と解説

情報サービス演習

〔編著〕
野口武悟
千 錫烈

〔著〕
齋藤泰則
松山 巌
長谷川幸代
新藤 透
水沼友宏

日外アソシエーツ

まえがき

本書は、2012年12月に刊行された『CD-ROMで学ぶ情報検索の演習　新訂4版』（田中功・齋藤泰則・松山巌編著）（以下、前版）を全面改訂したものです。前版までは、演習で用いるデータベースをCD-ROMに収めて提供していました。しかし、刊行から10年が経過し、コンピュータ端末のOSのヴァージョン変更なども著しく、CD-ROMへのアクセスに支障が生じるようになってきました。そこで、今回の版からは、データベースをCD-ROMというパッケージ形態からクラウド版に切り替えて提供することにしました。

本書が提供するクラウド版の演習用データベースには4種類があります。種類ごとの収録件数は、人物略歴情報が11,863人、雑誌記事情報が31,784件、図書内容情報が8,831点、新聞記事情報が14,353件です。いずれも現時点で最新のデータを用いています。

本書は、大学や短期大学における図書館司書課程の必修科目「情報サービス演習」のテキストとしての使用を想定して編んでいますが、教養科目としての情報教育や初年次教育などにおいても使用可能な内容となっています。情報を主体的に探し使いこなす力を身につけることは、大学や短期大学においてこれから学ぼうとする学問に向き合う基本姿勢として重要なことの1つです。どのような学問を究めるにしても、情報検索の知識や技術をまず習得することで、その学問分野の情報の広がりを発見し、さらにその学問の魅力や奥深さをも気づかせてくれることでしょう。本書がその一助となれば幸いです。

最後に本書の出版に際し、発行までに導きご尽力をいただいた日外アソシエーツ株式会社の青木竜馬さん、木村月子さんに心から感謝いたします。

2023年1月

編著者　野口武悟・千錫烈

第1部　検索のための基礎知識

1.1　情報検索とデータベース …… 3

1.1.1　情報活用と情報リテラシー……3

1.1.2　情報検索とは……4

1.1.3　一次情報と二次情報……5

1.1.4　データベースとは……7

1.1.5　データベースの種類……9

1.1.6　インターネットで利用できるデータベースの例…… 11

1.1.7　サーチエンジンを用いた検索…… 13

1.2　検索語とキーワード ……22

1.2.1　キーワード…… 22

1.2.2　件名標目表…… 24

1.2.3　シソーラス…… 25

1.2.4　自由語と統制語…… 29

1.2.5　欲しい情報と出てくる情報―再現率と精度…… 29

1.2.6　逐次検索と索引検索…… 32

1.3　検索の手順―検索戦略の構築 ……40

1.3.1　質問の分析…… 42

1.3.2　情報源の選択…… 44

1.3.3　検索語の選定…… 47

1.3.4　検索式の作成…… 50

1.4　参考文献 ……57

第2部　Web版検索演習解説

2.1　演習の準備 ……61

2.1.1　検索演習システム サインアップ（新規登録）…… 61

2.1.2　検索演習システムの機能説明…… 66

2.2　演習の実際 ……73

2.2.1　人物略歴情報…… 73

2.2.2　雑誌記事情報…… 80

2.2.3　図書内容情報…… 86

2.2.4　新聞記事原報…… 93

2.2.5　総合演習問題…… 97

索　引…… 99

図表一覧…… 102

執筆者紹介…… 103

1.1 情報検索とデータベース

1.1.1　情報活用と情報リテラシー

高度情報通信社会ともいわれるインターネットを前提とした現代社会にあって、私たちは多くの情報に取り囲まれて生活している。そして、今後も、私たちをとりまく情報は増大し続けるであろう。

ところで、こうした現代社会にあって、どれだけの人が必要な情報を自分の力で探し、選択する能力を充分に持ち合わせているであろうか。

いまから約40年前の1985（昭和60）年、政府の臨時教育審議会の第一次答申が、社会の変化への対応として「国際化」と並んで「情報化」に対応した人材の育成について提言した。このなかで「情報化」に関しては「社会の情報化を真に人々の生活の向上に役立てる上で、人々が主体的な選択により情報を使いこなす力を身に付けることが今後重要である」とし、各人が情報を探し使いこなす必要性を強調している。

さらに、1998（平成10）年には、文部省の初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議が『情報化の進展に対応した教育環境の実現に向けて（最終報告）』をとりまとめ、そのなかで「課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況等を踏まえて発信・伝達できる能力」を「情報活用能力」と位置づけ、これを育成する教育を提案している。これ以降、初等中等教育（小学校～高等学校教育）においては情報活用能力とそれを育成する情報教育が重視されている。

情報活用能力の育成は、高等教育（大学教育）においても重要なことはいうまでもない。情報活用能力の育成は残念ながら十分とは言えない状況だからである。なお、高等教育においては、情報活用能力のことを「情報リテラシー」と呼ぶことが一般的である。

本書のテーマである「情報検索」は、この情報リテラシーに包含されるものであって、生涯学習時代を迎えた今日において主体的に情報と向き合い活用するためにも不可欠な技術といえよう。

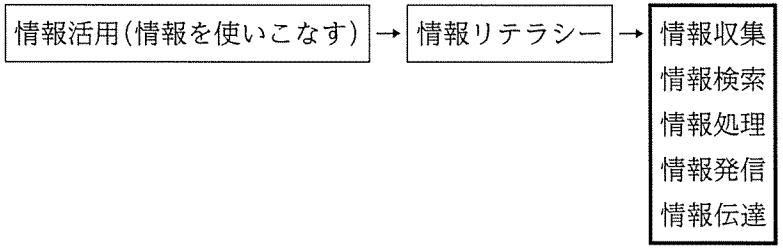

図1　情報活用と情報リテラシー

1.1.2　情報検索とは

情報検索という言葉は、今日では日常的に使われるようになった。国語辞書の『広辞苑』（岩波書店）には「情報検索」の項目が1998（平成10）年刊行の第5版に初めて出現した。そこでは「（information retrieval）大量のデータあるいは分析結果を必要に応じて取り出すこと」と記載されている。また、専門事典である『図書館情報学用語辞典』（丸善出版）の第5版（2020年刊）には、「あらかじめ組織化して大量に蓄積されている情報の集合から、ある特定の情報要求を満たす情報の集合を抽出すること」とある。

これらの定義からも分かるように、情報検索は次の2つの機能から成立する。

①情報を分析し、探しやすいように整理（組織化）し蓄積する

②必要な情報をあらかじめ蓄積された大量の情報の中から探し出す

情報検索にはこれらを行うための方法、手順なども含めることが多いが、前者における蓄積される情報の量と質、また後者における検索機能などの良否によって検索効率が左右されることになる。

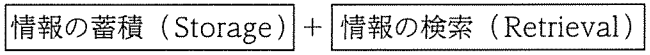

図2　情報検索の2つの機能

1.1.3　一次情報と二次情報

図書館情報資源のうち、紙媒体の図書や雑誌、新聞などを「一次資料」、それらを見つけ出すための書誌、目録、索引などを「二次資料」と呼ぶ。データベースに収録される情報も同じように「一次情報」と「二次情報」とに分けることができる。

①　一次情報

一次情報は、オリジナルな内容を持つ情報のことである。またこれらの情報を収録している資料を一次資料という。これらの代表例が図書、雑誌、新聞などである。

①図書

図書は雑誌に比べてページ数などの条件が比較的柔軟であるため、量的にまとまった情報が得られる。しかし執筆から刊行までに時間を要することが、情報の速報性からみると難点となる。したがって情報の新しさより、むしろ長い間存続させる必要のある情報を提供する資料としての価値がある。図書には個々の図書を識別するための世界共通のコードであるISBN（International Standard Book Number：国際標準図書番号）がつけられる。このコードは13桁の

2.2 演習の実際

「検索演習システム」に収録されているデータベースは「人物略歴情報」「雑誌記事情報」「図書内容情報」「新聞記事原報」の4種類です。データベースごとの基本的な操作方法を具体的に説明していきますので、検索方法を理解したら、次は実際にPCを使って練習問題に挑戦してみましょう。

2.2.1　人物略歴情報

人物・人材情報データベース「WhoPlus」(日外アソシエーツ)から、現在活躍中の俳優・歌手・タレントなど11,863人を収録しています。物故者は収録していません。また、引退した人も一部を除き収録していません。

検索項目は「キーワード（経歴)」「姓名」「職業・肩書」「出身地」「生年月日」「学歴」の6種類です（図28)。このうち「姓名」については、読み検索も可能です（ひらがなまたは全角カタカナで入力)。

図28　人物略歴情報検索画面

①検索方法

「キーワード（経歴）」で探す

詳細画面の「経歴」をはじめ、「グループ名」「受賞名」などの欄に書かれている主要な語句から検索できます。

また、「趣味・特技」の項目もヒットさせることができます。例えば、「手品」で検索すると「趣味・特技」に手品と書かれている元フジテレビアナウンサーの牧原俊幸がヒットします。しかし、草なぎ剛（データベースでは「草〓剛」として収録）の「趣味・特技」として書かれている「ビンテージジーンズ収集」はヒットしません。

経歴欄などに登場する全ての語句がキーワードとして登録されているわけではないので、使いこなすにはある程度の慣れと工夫が要るかもしれません。

【例】東京マラソンに出場したことのある人物を探してみましょう。

検索項目の「キーワード（経歴）」に「東京マラソン」と入力し、検索ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。一覧表示画面に結果が表示されます。

「姓名」で探す

入力した文字列を姓名に含む人を検索します。一部分しかわからなくても構いません。ただし、姓と名の2つの部分からなっている人（本名でなくても同じ構造の名前を持つ場合を含む）を検索する場合は、姓と名の間にはスペースを入れてください（全角でも半角でもかまいません）。

【例】「松田聖子」を探してみましょう。

検索項目の「姓名」に「松田　聖子」と入力します。姓と名の間にスペースが入ります。間にスペースのない「松田聖子」では検索されないので注意してください。次に、検索ボタンをクリックするかEnterキーを押します。一覧表示画面に結果

が表示されます。「松田」だけだと、他に松田優作など「松田」の2文字を含む人もヒットします。

漢字表記が不明な場合（あるいは漢字表記を問わない場合）は、読みを「ひらがな」や「全角カタカナ」で入力してください。この場合にも姓と名の間にスペースが必要です。

例）「イトウ」と入力した場合は、「伊藤」「伊東」「斎藤」「さいとう」などが該当します。

「職業・肩書」で探す

「歌手」で検索すると、部分一致ですので「ジャズ歌手」などもヒットします。モレなく検索する場合には、ノイズも入りますが、「シンガーソングライター」や「ミュージシャン」などの類義語をORでつないで検索すると網羅的に探せます。

【例】「バレリーナ」という職業で検索をしてみましょう。

検索項目の「職業・肩書」に「バレリーナ」と入力し、検索ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。一覧表示画面に結果が表示され、「元・バレリーナ」も含めて検索されます。また、類義語の「バレエダンサー」をORでつないで検索すると、女性だけでなく男性でバレエをする人物も検索され、より網羅的に検索できます。

★「CD-ROMで学ぶ　情報検索の演習　新訂4版」をお持ちの方へ：新訂４版では「どのような職業が入っているか」を一覧するブラウズ機能がありましたが、この版ではなくなりましたので、ある程度試行錯誤が必要かもしれません（これはほかのフィールドやほかのデータベースについてもいえます）。

「出身地」で探す

国内出身の人については、基本的には都道府県名で検索します。

索　引

【あ】

『赤いバラは咲いたか』…… 24
アメリカ図書館協会…… 46
一次情報…… 5, 10
一次資料…… 5
インターネット検索…… 13
インターネット上の情報源…… 46
インタビュー…… 41
教えて！goo …… 19

【か】

怪異・妖怪伝承データベース…… 12
下位概念…… 27
下位語……27, 28, 50, 55
関連語…… 28, 50, 54
キーワード…… 22
キーワード検索…… 15
結合の優先順位…… 52
検索エンジン最適化…… 16
検索語…… 23
検索語の選定…… 47
検索式…… 36, 56
検索式の作成…… 50, 53
検索戦略…… 40, 42, 47
件名…… 25
件名典拠データ…… 49, 50
件名標目……48, 49, 50, 53, 54, 55
件名標目表…… 25
高度情報通信社会…… 3
後方一致検索…… 55
国文学論文目録データベース…… 12
国立国会図書館……48, 49, 54, 55
国立国会図書館サーチ…… 11
国会図書館典拠データ検索…… 49
コマンド型…… 36
「コンピュータによるレファレンスサービス支援部会(MARS)」…… 46

【さ】

再現率……31, 48, 50, 56
最高裁判例集検索…… 13
最上位語…… 27
索引…… 7, 45, 46
索引検索…… 33
索引語…… 23
索引ファイル…… 34, 35
サーチエンジン…… 13, 46
サーチャー…… 9
雑誌……5, 6
事実検索質問…… 41, 43
辞書…… 46
シソーラス…… 25
質問の分析…… 42

執筆者紹介

〔編著〕

野口 武悟（のぐち・たけのり）　専修大学 文学部 教授

千 錫烈（せん・すずれつ）　関東学院大学 社会学部 教授

〔著〕

齋藤 泰則（さいとう・やすのり）　明治大学 文学部 教授

松山 巌（まつやま・いわお）　玉川大学 教育学部 准教授

長谷川 幸代（はせがわ・ゆきよ）　跡見学園女子大学 文学部 専任講師

新藤 透（しんどう・とおる）　國學院大學 文学部 教授

水沼 友宏（みずぬま・ゆひろ）　桃山学院大学 経営学部 専任講師

Webで学ぶ　情報検索の演習と解説
〈情報サービス演習〉

2023年3月25日　第1刷発行

編 著 者／野口武悟・千錫烈
著　　者／齋藤泰則・松山巌・長谷川幸代・新藤透・水沼友宏
発 行 者／山下浩
発　　行／日外アソシエーツ株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス
電話 (03)3763-5241（代表） FAX(03)3764-0845
URL https://www.nichigai.co.jp/

組版処理／日外アソシエーツ株式会社
印刷・製本／株式会社平河工業社

©Takenori NOGUCHI, Suzuretsu SEN,
Yasunori SAITO, Iwao MATSUYAMA, Yukiyo HASEGAWA,
Toru SHINDO, Yuhiro MIZUNUMA 2023
不許複製・禁無断転載
<落丁・乱丁本はお取り替えいたします>

ISBN978-4-8169-2957-1　　*Printed in Japan,2023*